

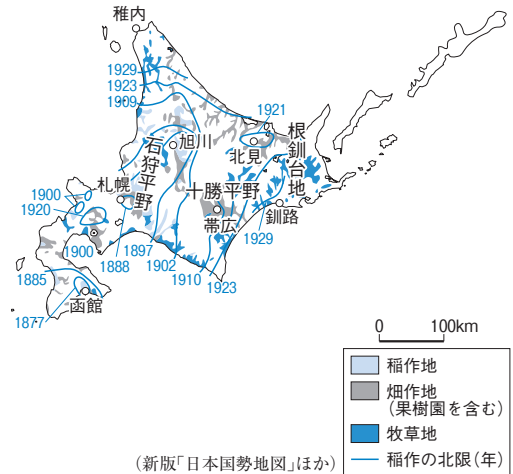
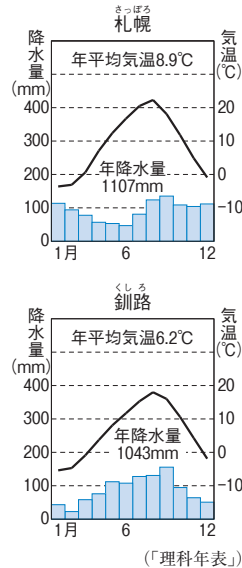
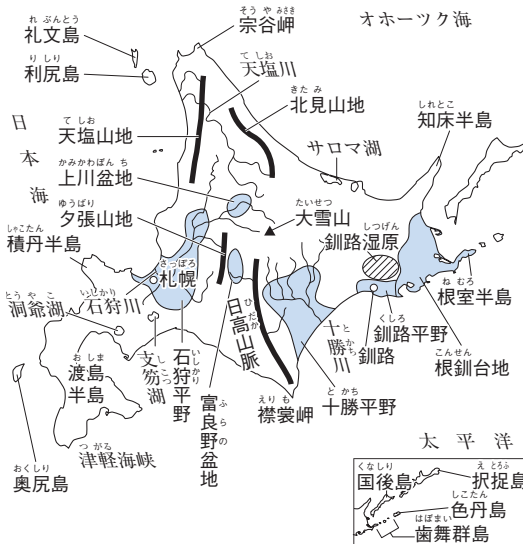


単元 13

北海道地方



学習のまとめ



▲A北海道地方の自然

▲Bおもな都市の雨温図

1 北海道地方の自然環境(図表のワーク①～⑥, ⑭～⑮)

- 面積…日本の国土面積の約5分の1を占める。
- 地形…北見山地・日高山脈が南北にはしる。石狩川の下流に石狩平野。東部に十勝平野・根釧台地。十勝岳・有珠山などの火山。
- 気候…亜寒帯(冷帯)。日本海側→季節風の影響で雪が多い。太平洋側→濃霧の影響で夏でも冷涼。オホーツク海沿岸に流氷。
夏に南東の季節風が寒流の親潮に冷やされて発生する

2 雪と共にある北海道の人々の生活(図表のワーク⑫)

- 札幌市…人口約190万の北海道最大の都市。「さっぽろ雪まつり」。国内外から約200万人の観光客が集まる
- 住宅の工夫…傾斜のついた屋根。壁や床に厚い断熱材。
- 利雪の試み…雪室に米を貯蔵。雪冷房システムの取り組みなど。
雪で空気を冷やすことで建物を冷却する

3 厳しい自然環境を克服してきた稲作(図表のワーク⑦, ⑧)

- 石狩平野…泥炭地が広がっていたため、排水路の整備や「客土」などの土地改良を行う→全国有数の米の生産地に。
- 開拓の歴史…明治時代に開拓使設置。屯田兵などが開拓を進める。
- 稲作の変化…国の減反政策によって転作を行う農家が増加。
別の作物をつくる

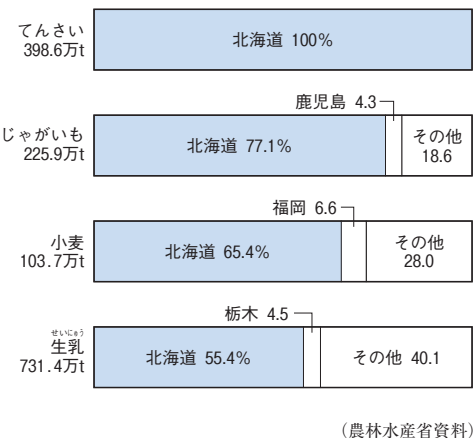
4 自然の恵みを生かす畑作や酪農、漁業(図表のワーク⑨～⑪)

- 畑作…十勝平野などで小麦・てんさい・じゃがいも・豆類などを栽培。大型の農業機械を使い、大規模に経営。広く輪作が行われる。
地力の低下を防ぐため、年ごとに栽培する作物をかえる
- 酪農…夏でも冷涼な根釧台地で乳牛を飼育→乳製品や生乳を生産。
- 漁業…漁獲量全国1位。かつては北洋漁業がさかん。現在は沖合漁業や沿岸漁業のほか、養殖業や栽培漁業がさかん。
はたて貝・こんぶ

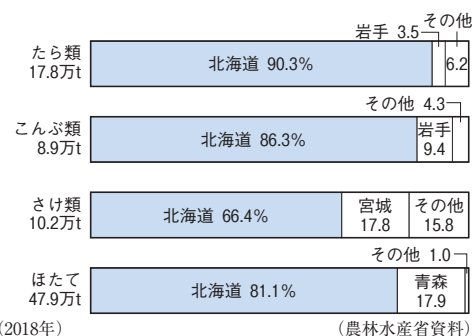
5 北国の自然を生かした観光業(図表のワーク⑬)

- 観光業…美しい自然や食べ物などを生かした観光業がさかん。
近年は外国人観光客が増加
- 自然との共存…知床五湖周辺でエコツーリズムの取り組みを推進。
世界遺産 生態系の保全と観光の両立を目指す

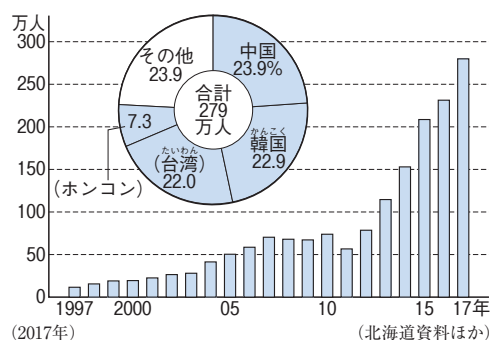
▲C北海道の土地利用



▲D主な農産物の生産割合



▲E主な水産物の漁獲量



▲F外国人観光客数と出身国・地域の割合

☒ 図表のワーク

学習のまとめを見て
図表を完成させよう

北海道地方の地形

北海道の道央に広がる

① 平野

①の平野を流れる

北海道で最も長い川

② 川

高く険しい

③ 山脈

冬には流氷が押し寄せる

④ 海

世界自然遺産に登録された

⑤

太平洋

寒冷なため農作物を栽培でき

ない ⑥ 台地

北海道地方の農業・漁業

土地改良を行って

⑦ の産地となった①の平野

⑧ 地が広がる①の平野を
改良した

機械化された大規模経営の畑作

農家が多く見られる

⑨ 平野

⑩ 漁業の基地

としてにぎわった根室港

⑥の台地で乳牛を飼って、
バター・チーズなどを出荷

する ⑪ がさかん

北海道地方の工業・都市・領土

人口が190万人を超える都市

⑫ 市

観光業がさかんな北海道では
自然保護との両立を目指す

⑬ を

進めている

日本がロシアに返還
を要求している島々

⑭

日本の北端にあたる島

⑮ 島

⑭の島の1つ

⑯ 島

確認問題

→類題演習 P.119

① 北海道地方の自然環境 次文中の□□□□にあてはまる語句や数字を答えなさい。

- (1) 北海道の面積は、日本の国土面積の約□□□□分の1を占めている。()
- (2) 北海道の南部を南北に連なる険しい山脈は、□□□□である。()
- (3) 北海道の西部を中心にして広がり、北海道の稲作の中心となっている平野は、□□□□である。()
- (4) 北海道が属する気候帯は、□□□□である。()
- (5) 北海道の太平洋側は、夏の間に□□□□が発生し、日照をさえぎるため、気温があまり上がらない。()
- (6) 北海道のオホーツク海沿岸には、冬の間、□□□□とよばれる氷のかたまりが押し寄せる。()

② 雪と共にある北海道の人々の生活 次文中の□□□□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 北海道開拓の中心地として計画的につくられた□□□□市には、北海道の人口の約3分の1が集まる。()

③ 厳しい自然環境を克服してきた稲作 次の問いに答えなさい。

- (1) 石狩平野で稲作がさかんに行われるようになった理由の1つは、稲作に向かない土地を改良したことである。石狩平野に広がっていた農業に向かない湿地を何とよぶか。()
- (2) 明治時代になると、北海道を開発するために、ある役所が設置された。この役所を何というか。()
- (3) 明治時代に、北海道の開拓と北方の警備のために送り出された人々を何というか。()
- (4) 減反政策に対応するため、田を畑に替えて別の作物を生産することを何というか。()

④ 自然の恵みを生かす畑作や酪農、漁業 次文中の〔 〕から最も適当な語句を選んで答えなさい。

- (1) 帯広市を中心とする〔石狩平野 十勝平野〕は、北海道を代表する畑作地帯である。()
- (2) 北海道の多くの農家は、地力の低下を防ぐため、年ごとに栽培する作物を変える〔転作 輪作〕を行っている。()
- (3) 北海道の東部に広がる〔根釧台地 北見盆地〕は、耕地に適さないため、酪農の中心地として発展してきた。()
- (4) かつて北海道では、アラスカ沖などの海でさけやすけとうだらなどをとる〔沿岸漁業 北洋漁業〕がさかんだった。()
- (5) 1970年代以降、北海道では、稚魚・稚貝を育てて海に戻す〔栽培漁業 養殖業〕などの育てる漁業がさかんに行われている。()

⑤ 北国の自然を生かした観光業 次文中の□□□□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 知床五湖周辺では、世界遺産に登録された貴重な生態系を守るため、生態系の保全と観光の両立をはかる□□□□の取り組みが進められている。()

練習問題

1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 地図中のAの川、Bの山脈、Cの半島
□ の名をそれぞれ答えなさい。

- (2) 冬に^{りゅうひょう}流水がやってくる、地図中のDの
海を何というか。

- (3) 北海道の太平洋側では、夏に南東の季節風が寒流の^{おやしお}親潮によって冷やされ、
□が発生し、気温が低くなる。
□にあてはまる語句を答えなさい。

- (4) 地図中のEは、北海道最大の都市である。この都市名を答えなさい。

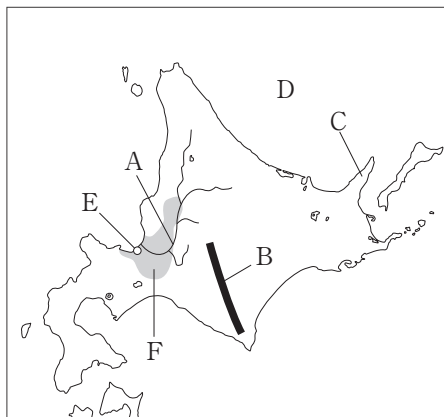
- (5) 地図中のFの平野について、次の問いに答えなさい。

- ① この平野の名を答えなさい。

- ② この平野でさかんに行われている農業を次から選び、記号で答えなさい。

ア 稲作 イ 畑作 ウ 酪農

- ③ この平野は、明治時代の初め、北海道の開拓などのために、政府が北海道に
送った□によって開拓された。□にあてはまる語句を答えなさい。



1 学習のまとめ ①～③

(1) A _____ 川

B _____ 山脈

C _____ 半島

(2) _____

(3) _____

(4) _____ 市

(5)① _____ 平野

② _____

③ _____

2 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 地図中のAの平野について、次の問いに
答えなさい。

- ① この平野の名を答えなさい。

- ② この平野で栽培される農作物のうち、
北海道が全国の生産量の100%を占め
ているものを次から選び、記号で答え
なさい。

ア 小麦 イ てんさい

ウ スイートコーン

エ ジャガイモ

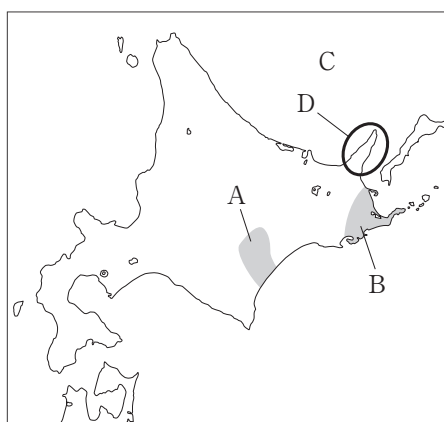
- (2) 地図中のBの台地について、次の問いに答えなさい。

- ① この台地の名を答えなさい。

- ② この台地では、乳牛を飼育して生乳やバターなどを生産する農業がさかん
である。このような農業を何というか。

- (3) かつて北海道では、地図中のCの海のロシア沿岸や、アメリカ合衆国のアラス
カ沿岸を漁場とする□漁業がさかんだった。□にあてはまる語句を答え
なさい。

- (4) 地図中のDは、世界遺産に登録されてから、増加した観光客によって環境が壊
されてきた。環境の保全と観光を両立させる取り組みを何というか。



2 学習のまとめ ④・⑤

(1)① _____ 平野

② _____

(2)① _____ 台地

② _____

(3) _____ 漁業

(4) _____

➤ Key プラス

1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- ☐ (1) 地図中の A・B の火山の名をそれぞれ答えなさい。

- (2) 資料Ⅰ中のア～ウは、地図中の札幌^{さつぱ}、幌^{ほろ}、釧路^{くしろ}、網走^{あぼり}のいずれかの雨温図である。札幌、釧路にあてはまるものをア～ウからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- (3) 北海道に古くから住んでいた人々
を何というか。

- (4) 明治時代の初めに、政府が北海道を開発するために設置した役所を何というか。

- (5) 資料Ⅱは、北海道の農地面積の変化を示している。1970年から2019年の間に、農地面積が拡大する一方で、田の面積は減少している。その理由を簡単に説明しなさい。

- (6) 資料Ⅲ中の $X \cdot Y$ は、北海道が全
□ 国有数の生産量をあげる農産物の生産量割合
を示している。 $X \cdot Y$ にあてはまるものを次
からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア ピーマン イ じゃがいも

ウ 小麦 エ 米

- (7) 地図中のCは、北海道の酪農^{らくのう}の中心地として発展してきた。この地域で酪農がさかんになった理由としてあてはまらないものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 夏に低温になるため、^い稲作や畑作に適さない土地だから。

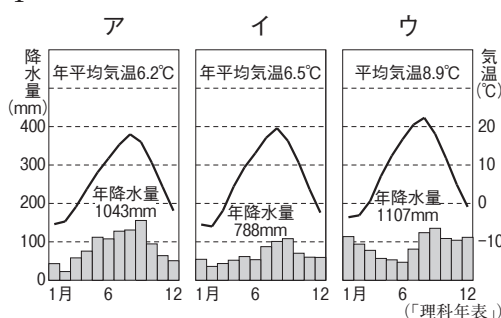
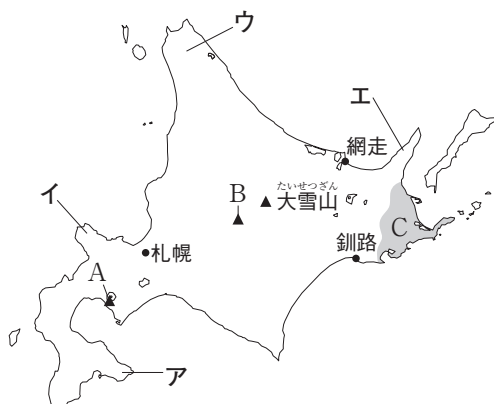
イ 国の政策によって酪農村がつくられたから。

ウ 大規模に酪農ができる広い土地があったから。

工 近くに大消費地があり、鮮度を保ったまま生乳^{せいにく}を出荷できるから。

- ☐ (8) 近年、中国や韓国をはじめ、温暖なアジアの国々から外国人観光客が多く訪れるようになった。①外国人観光客が多く訪れる季節を春・夏・秋・冬から選び、②その季節に訪れる理由を簡単に答えなさい。

- (9) 貴重な生態系や自然環境が残り、世界遺産に登録された地域を地図中のア～エから選び、記号で答えなさい。



II

	田	畑*	その他
1970年 89万ha	31.1	68.3	0.6
2019年 114万ha	19.4%	80.3	0.3

※畑には牧草地を含む。(農林水産省資料)

III

X

福岡 6.6

北海道 65.4%

その他 28.0

Y

鹿児島 4.3

北海道 77.1%

その他 18.6

(農林水産省資料)

1の答え

(1)A

B

(2) 札幌

釧路

(3)

(4)

(5)

(6) X

Y

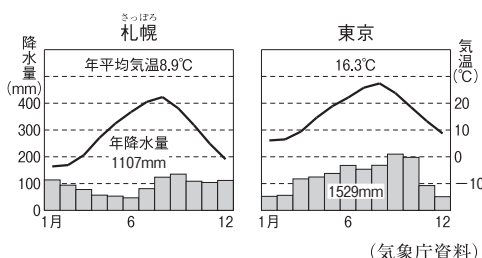
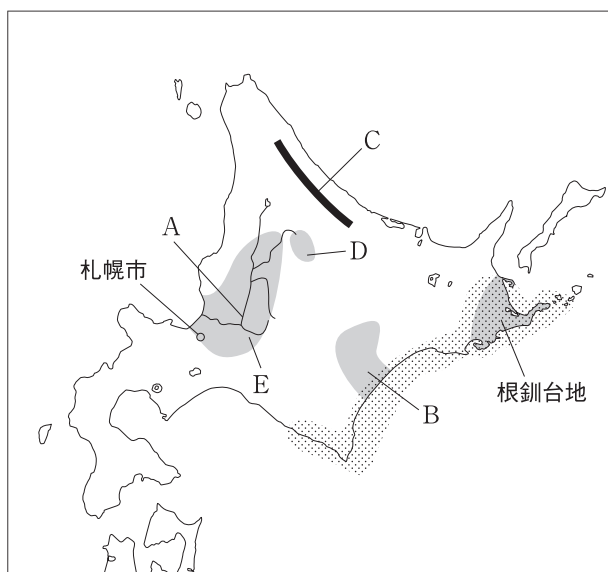
$$(7)$$

(8)①

②

(9)

1 左の地図を見て、次の問いに答えなさい。



(1) 左の地図中のAの川、Bの平野、Cの山地、Dの盆地の名をそれぞれ答えなさい。

□A() □B()
□C() □D()

(2) 地図中のEの平野について、次の文の()にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

この平野は、かつて(①)が広がる(②)に向かない土地だった。土地の改良などを進め、現在は北海道最大の(②)地帯になっている。

□①() □②()

(3) 地図中の札幌市について、左の雨温図を見ると、札幌市の気候は、東京の気候と比べて6～7月の降水量が少ないことが分かる。これは、何の影響を受けていないためか。 □()

(4) 北海道では、近年、雪を利用して生活に役立てようとする取り組みが進められている。こうした試みにあてはまらないものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

□()

ア 雪を使ったイベントを開催している。

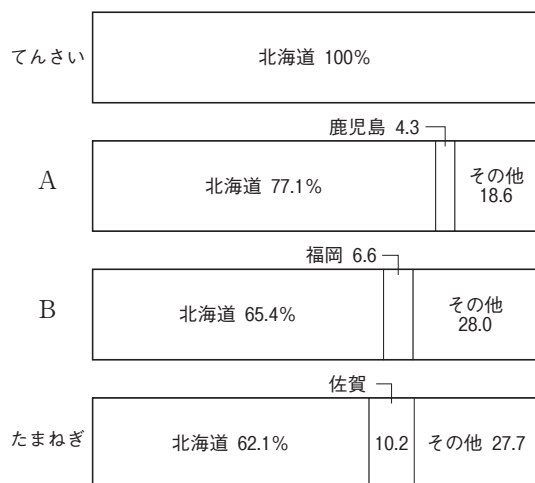
イ 雪室の中に収穫した米を貯蔵している。

ウ 市内に堆積場をつくり、集めた雪を捨てている。

エ 雪を使って建物を冷却している。

(5) 地図中の根釧台地は、作物の栽培に適していない。その理由の1つは、根釧台地が火山灰におおわれていることである。もう1つの理由は、夏でも低温になりやすいことである。地図中ので発生しやすい、低温をもたらす自然現象は何か。 □()

2 左のグラフは、農産物の都道府県別生産量割合を表している。このグラフを見て、次の問いに答えなさい。



(1) 左のA・Bのグラフにあてはまる農産物を次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。 □A() □B()

ア 小麦 イ なす ウ トマト
エ きゅうり オ じゃがいも

(2) 北海道でてんさいやたまねぎの生産がさかんなのは、これらの農産物にどのような特徴があるからか。簡単に説明しなさい。

□()

(3) 農業は、自然環境の制約を受ける。北海道の厳しい自然環境の克服につながるがらとして、あてはまらないものを次から1つ選び、記号で答えなさい。 □()

ア 品種改良を行い、寒さに強い品種をつくる。

イ 出荷のための輸送技術を発展させる。

ウ 排水路を整備する。

エ 第3次産業の就業人口を増やす。

定期テスト対策 Ⅲ 標準編 Ⅲ

単元10 中部地方～
単元13 北海道地方

得点

／100点

実施時間のめやす⇒25分

1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

(各4点)

(1) 地図中のX～Zについて、次の問いに答えなさい。

☐① X～Zの山脈の名称をそれぞれ答えなさい。

☐ X() Y()
☐ Z()

☐② X～Zの山脈をまとめて何というか。

()

(2) 地図中の愛知県について、次の問いに答えなさい。

☐① 愛知県の県庁所在地を中心に広がる大都市圏を何というか。

()

☐② 愛知県や三重県に広がる工業地帯を何というか。

()

☐③ 右の資料中のA～Cは、レタス・もも・茶のいずれかの都道府県別生産量割合を示している。A～Cにあてはまるものをそれぞれ答えなさい。

A() B() C()

☐④ 北陸では、冬の農業が難しいことから、稲作だけを行っている。このような農業を何というか。()



A	静岡県 38.6%		三重県 鹿兒島県 36.6		7.7	4.6	その他 12.5
	長野県 35.7%		茨城県 15.3		7.9	5.8	4.9
B	山梨県 34.8%		福島県 21.4		11.7	7.1	6.6
	長野県 35.7%		茨城県 15.3		7.9	5.8	4.9
C	山梨県 34.8%		福島県 21.4		11.7	7.1	6.6
	山梨県 34.8%		福島県 21.4		11.7	7.1	6.6

(農林水産省資料)

2 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

(各3点)

☐① 地図中のXの河川とYの山地の名称をそれぞれ答えなさい。

☐ X() Y()

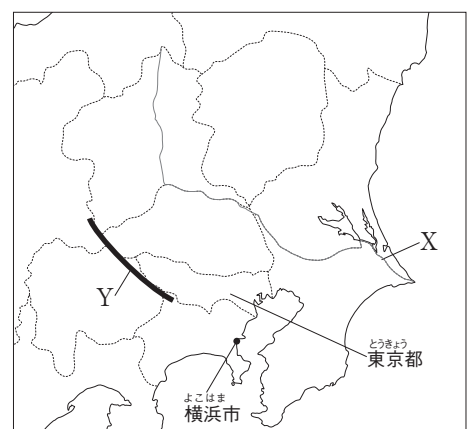
(2) 地図中の東京都について、次の問いに答えなさい。

☐① 東京23区などの都市の中心部で、郊外よりも局地的に気温が上がる現象を何というか。()

☐② 東京大都市圏は日本の政治・経済・文化の中心地であることから、日本中から人口が集まっている。過度に人口が集まった状態を何というか。()

☐③ 地図中の横浜市に、都市機能を分散させるためにつくられた地域を何というか。()

☐④ 右のグラフのア～ウは、京浜工業地帯、京葉工業地域、北関東工業地域のいずれかの工業出荷額とその割合を示している。京葉工業地域にあてはまるものを、ア～ウから選び、記号で答えなさい。()



ア	鉄鋼・金属 10.1%		食品 45.5		化学 20.0	繊維 12.4	その他 11.5
	鉄鋼・金属 10.1%		食品 45.5		化学 20.0	繊維 12.4	その他 11.5
イ	鉄鋼・金属 13.9%		食品 45.0		化学 17.0	繊維 15.5	その他 8.0
	鉄鋼・金属 13.9%		食品 45.0		化学 17.0	繊維 15.5	その他 8.0
ウ	鉄鋼・金属 21.5%		食品 13.1		化学 42.7	繊維 15.8	その他 6.7
	鉄鋼・金属 21.5%		食品 13.1		化学 42.7	繊維 15.8	その他 6.7

(2017年)

(工業統計表)

3 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

(各3点)

- (1) 地図中のX～Zの地形の名称の組み合わせとして正しいものを、次から選び、記号で答えなさい。

- ア X－出羽山地 Y－奥羽山脈 Z－北上高地
 イ X－奥羽山脈 Y－出羽山地 Z－北上高地
 ウ X－北上高地 Y－奥羽山脈 Z－出羽山地
 エ X－北上高地 Y－出羽山地 Z－奥羽山脈 ()

- (2) 東北地方の太平洋側に夏に吹き、冷夏をもたらすこともある風を何というか。 ()

- (3) 地図中の三陸海岸について、次の問いに答えなさい。

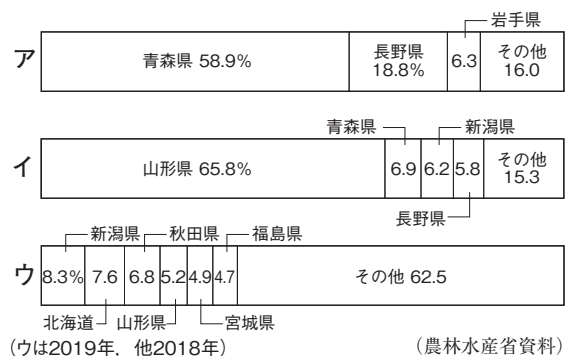
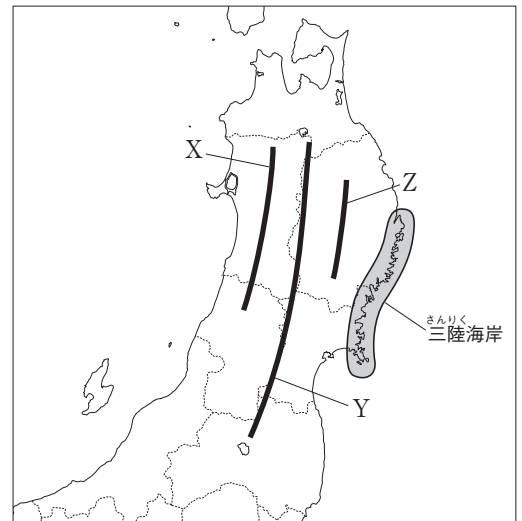
- ① 三陸海岸に見られる、湾と岬が入り組んだ海岸線の地形を何というか。 ()

- ② 三陸海岸で養殖がさかんな水産物を、次から選び、記号で答えなさい。 ()

- ア 真珠 イ はまち ウ のり エ わかめ

- (4) 右のグラフのA～ウは、米、りんご、西洋なしのいずれかの都道府県別生産量割合を示している。それぞれにあてはまるグラフを、A～ウから選び、記号で答えなさい。

米() りんご() 西洋なし()



4 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

(各3点)

- (1) 右の地図中のXの山脈の名称を答えなさい。 ()

- (2) 地図中のYは、世界自然遺産に登録されている半島である。この半島の名称を答えなさい。 ()

- (3) 北海道はかつて、蝦夷地とよばれていた。次の問いに答えなさい。

- ① 蝦夷地で生活していた先住民族を何というか。 ()

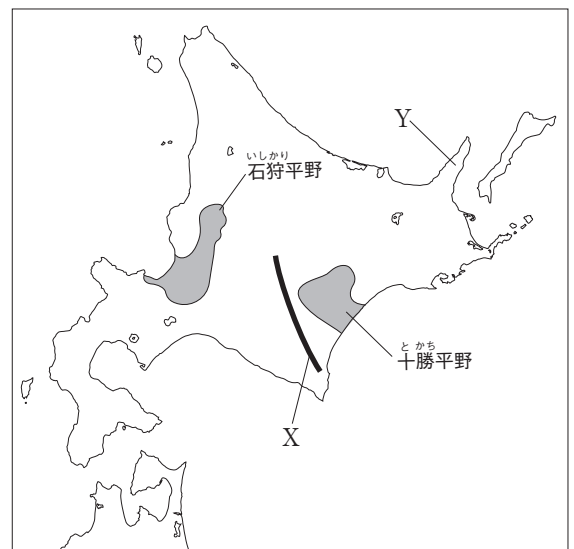
- ② 明治時代に派遣された、北海道の開拓と北方の警備などを行った人々を何というか。 ()

- (4) 地図中の石狩平野で行われた、他の地域から質のよい土を運び入れることで土壌を改善することを何というか。 ()

- (5) 地図中の十勝平野で、同じ場所で同じ作物を育てることによる収獲減を防ぐために行われているものを、次から選び、記号で答えなさい。

- ア 輪作 イ 促成栽培 ウ 抑制栽培 エ 近郊農業 ()

- (6) かつて北海道でさかんだった、アラスカ沖などの海でさけやすけとうだらなどをとった漁業を何というか。 ()



定期テスト対策 Ⅲ 応用編 Ⅲ

単元10 中部地方～
単元13 北海道地方

得点

／100点

実施時間のめやす⇒30分

1 次の問いに答えなさい。(各6点)

- (1) 東海工業地域に位置する都市名と、その都市でさかんな工業の組み合わせとして正しいものを、次から選び、記号で答えなさい。

ア 瀬戸市－窯業 イ 四日市市－化学 ウ 豊田市－自動車 エ 浜松市－楽器・オートバイ

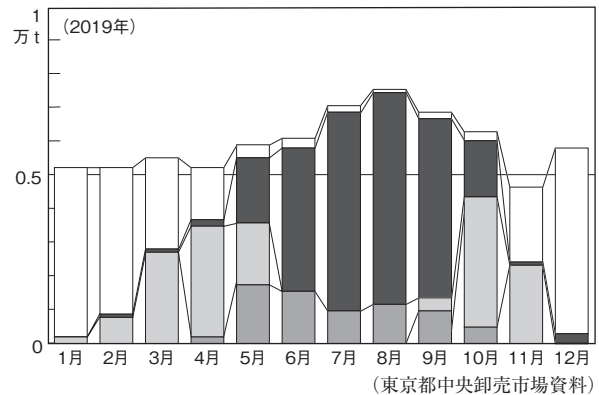
()

- (2) 右のグラフは、東京都中央卸売市場におけるレタスの県別入荷量を示しており、グラフ中のア～ウには、長野県、群馬県、茨城県のいずれかがあてはまる。長野県にあてはまるものを、ア～ウから選び、記号で答えなさい。

また、長野県のレタス生産の特色を、簡単に答えなさい。

記号()

特色()



- (3) 北陸で、伝統産業や地場産業が発展した理由を、簡単に答えなさい。

()

- (4) 東海の産業の特色について述べた次の文中の□□□□にあてはまる語句を答えなさい。

東海は、三大都市圏の間にあり、□□□□を利用すれば、日本各地へ早く輸送することができる。

()

2 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。(各5点)

関東地方には①日本最大の平野が広がっており、4000万人以上の人々が住んでいる。東京は、②日本の政治・経済・文化の中心地だが、一極集中が進んだことから、③過密を解消するための取り組みが行われている。臨海部には京浜工業地帯や京葉工業地域が広がり、④内陸部には北関東工業地域が広がっており、工業がさかんである。また、茨城県や千葉県などでは近郊農業が、群馬県ではキャベツの栽培がさかに行われている。

- (1) 下線部①の平野の名称を答えなさい。()

- (2) 下線部②のような都市を何というか。()

- (3) 下線部③について、どのような取り組みが行われているか。「都市機能」という語句を使って、簡単に答えなさい。

()

- (4) 下線部④について、北関東工業地域では組み立て作業を行う工場などが多く進出した。その理由を、「工業団地」という語句を使って、簡単に答えなさい。

()

3 右の表を見て、次の問いに答えなさい。

(各5点)

- (1) 表中の青森県・秋田県に位置する、
世界自然遺産に登録されている山地の
名称を答えなさい。

()

- (2) 右の表中のXにあてはまるものを、
次から選び、記号で答えなさい。

ア 津軽塗 イ 七夕まつり
ウ 南部鉄器 エ 竿燈まつり

()

	米の収穫量 (千t)(2019年)	漁業生産量 (千t)(2017年)	伝統文化など
青森県	282	187	青森ねぶた祭
秋田県	527	6	X
岩手県	280	114	平泉
山形県	404	5	天童将棋駒
宮城県	377	250	雄勝すずり
福島県	369	54	会津塗

(2020/21年版「日本国勢図会」他)

- (3) 東北地方は日本の穀倉地帯で、日本の米の生産量の約3割を占める。食事の洋風化などにもなって米の消費量が減少した結果、どのような対策がとられたか。「生産量」「大豆・麦」という2つの語句を使って、簡単に答えなさい。

()

- (4) 表中で漁業生産量が多い3県の共通点を、海流に着目して、簡単に答えなさい。

()

4 北海道についてまとめた次の表を見て、あとの問いに答えなさい。

(各6点)

① 気候	亜寒帯(冷帯)に含まれ、冬の寒さが厳しい。
歴史	もともとはアイヌの人々が生活する土地だった。明治時代に全国から多くの人が移住した。
農業	石狩平野では稲作、十勝平野では畑作、根釧台地では酪農がさかん。

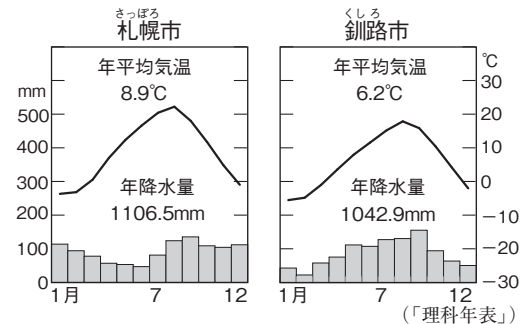
- (1) 下線部①について、右の雨温図を見て、次の問いに答えなさい。

- ① 北海道では、6月から7月の降水量が本州に比べて少ないのはなぜか。簡単に答えなさい。

()

- ② 次の文中の□に当てはまる語句を答えなさい。

札幌市の冬の降水量が、釧路市と比べて多いのは、暖流の□の上で水蒸気を含んだ空気が冬の季節風に冷やされて、たくさんの雪を降らせるからである。



()

- (2) 下線部②の時代に、北海道の開拓や移住のために設置された役所を何というか。

()

- (3) 下線部③について、石狩平野にはもともと泥炭地が広がっており、稲作には不向きだった。石狩平野で行われた稲作をさかんにするためのくふうを、土壌と品種の観点から、それぞれ簡単に答えなさい。

土壌()

品種()